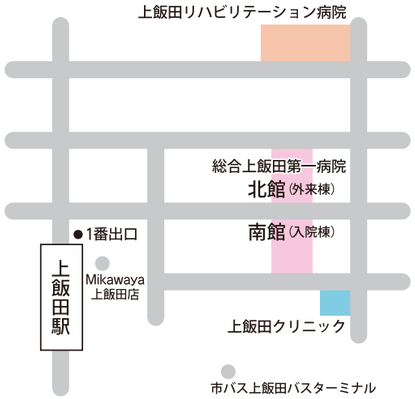
ACCESS

社会医療法人 愛生会 の関連施設 は、上飯田駅の周辺、徒歩圏内 にございます。



●地下鉄ご利用の場合

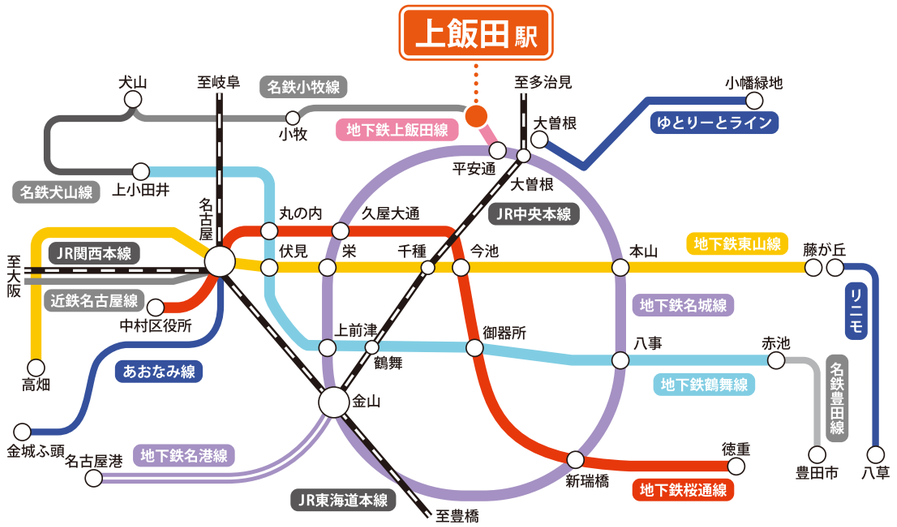
地下鉄名城線「平安通」駅で乗換え、
地下鉄上飯田線**「上飯田」**駅下車
1番出口より
- ●上飯田リハビリテーション病院……徒歩5分
- ●総合上飯田第一病院……徒歩2分
- ●上飯田クリニック……徒歩2分

●名　鉄ご利用の場合

名鉄小牧線**「上飯田」**駅下車
1番出口より
- ●上飯田リハビリテーション病院……徒歩5分
- ●総合上飯田第一病院……徒歩2分
- ●上飯田クリニック……徒歩2分

●市バスご利用の場合（名古屋駅より）

名駅13系統 上飯田行き終点
「上飯田」下車
- ●上飯田リハビリテーション病院……徒歩5分
- ●総合上飯田第一病院……徒歩3分
- ●上飯田クリニック……徒歩3分



社会医療法人 愛生会

私たちは「地域と共に、人と共に」の心を大切にします。

総合上飯田第一病院 急性期医療・急性期訪問リハビリ	上飯田リハビリテーション病院 回復期リハビリ・通所リハビリ	上飯田クリニック 維持透析	愛生訪問看護ステーション 訪問看護・リハビリ	あいせいデイサービスセンター 在宅支援・通所介護	愛生居宅介護支援事業所 在宅支援・ケアプラン
愛生会看護専門学校 看護師育成	こもれびの家 平安通 住宅型有料老人ホーム	愛生複合型サービスセンター 平安通 看護小規模多機能型居宅介護	愛生訪問看護ステーション 平安通 訪問看護・リハビリ	あいせいケアステーション 在宅支援・訪問介護	

愛生会紹介入院センター

TEL.052-325-3009

〒462-0808 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
受付時間／月～金 8:30～17:00
FAX.052-325-2700
https://www.aiseikai-hc.or.jp
愛生会紹介入院センターは愛生会本部にございます

AISEIKAI INFORMATION

愛生会紹介入院センター

入院や転院を あんしん で支えます。

上飯田リハビリテーション病院

総合上飯田第一病院

愛生会紹介入院センターとは？

この度、社会医療法人愛生会は「愛生会紹介入院センター」を開設いたします。
皆さまからの総合上飯田第一病院及び上飯田リハビリテーション病院への転院のご依頼を、
迅速かつ円滑に受入れが行えるように窓口機能を一本化いたします。

連携医療機関での急性期治療後、当法人の有する病床（急性期・回復期・地域包括ケア病棟）
在宅サービスを有効に活用し、**治療継続**、**リハビリテーション**、**退院支援**を行い、
住み慣れた地域へ戻るよう支援させていただきます。

患者さん、ご家族の方、地域医療機関に

「選ばれる病院」「紹介を断らない病院」

を目指し努力してまいります。

入院や転院のあんしんをみなさまへ。

あんしん 1 患者さんを最適な医療機関へ

患者さんの病態や必要な退院支援に応じ、最適な医療機関で入院治療、リハビリを継続します。

最適な医療機関へ

case01
総合上飯田第一病院
- 236床（一般／148床、地域包括ケア／88床）

case02
上飯田リハビリテーション病院
- 回復期病床／98床

あんしん 2 効率よく、迅速に入院先を決定

状況に応じた指揮系統を明確化し素早く情報を伝達。

入院受入れの返答

診療情報提供書が届いた　当日～翌日まで

紹介患者さんの入院受入れの流れ

医療機関
- 地域の医療機関で入院されている方
- 総合上飯田第一病院で入院されている方 など

愛生会紹介入院センター

第一病院 希望 → 総合上飯田第一病院

リハビリ病院 希望 → 上飯田リハビリテーション病院

▶患者さんの病態をふまえ、受入れ先を医師が検討します

Case 1 リハビリ病院を紹介 → 上飯田リハビリテーション病院

Case 2 第一病院を紹介 → 総合上飯田第一病院

Case 3 第一病院で治療後、リハビリ病院を紹介 → 総合上飯田第一病院
- 第一病院で検査・治療が必要
- 第一病院で経過観察が必要 など

回復期へ移行したら 上飯田リハビリテーション病院 へ

あんしん 3 質、量ともに高いリハビリテーションを提供

充実したリハビリの専門スタッフが在籍。患者さんのより早い回復のため支援を行ってまいります。

総合上飯田第一病院

強みは総合病院ならではのトータルサポート力！

22診療科の常勤医師による病状経過、リハビリテーションのアフターケアが可能。また、主治医をはじめ、看護師、MSW、リハビリテーションスタッフ、栄養士などがチームで退院に向け、支援します。

上飯田リハビリテーション病院

科学的根拠に基づく質の高いリハビリテーションを実施

入院直後から体調や病状に応じた個別のリハビリテーションプログラムを1日あたり最大3時間、毎日実施。訓練だけでなく入院生活がリハビリテーションととらえた看護・介護が提供されるのも特徴のひとつです。